

『東亜』2018年5月号目次 「特集：党への権力集中で変わる中国」

■COMPASS

- * 「匹夫も責あり」－中国共産党の危機感 岡本隆司
- * 党・国家機構改革後の経済政策 細川美穂子
- * 米国帰りの2代目「ミスター人民元」－背負う難題 吉岡桂子
- * 「非核化」と共に「平和定着」を目指す文在寅政権 西野純也

■特集 党への権力集中で変わる中国

- * 全人代－中国の経済政策とインフラ投資の課題 真家陽一
- * 急進化する大気汚染対策の光と陰 堀井伸浩
- － 「煤改気」と「煤改電」のもたらす歪み

■ON THE RECORD

- * 安定深める習近平政権－全人代の分析と今後の舵取り 佐々木智弘

■ASIA STREAM

- * [中国の動向] (2018年3月－4月)
習政権下で初の中朝首脳会談が実現 濱本良一
- * [台湾の動向] (2018年3月－4月)
台湾との関係強化に動くアメリカ 門間理良
- * [朝鮮半島の動向] (2018年3月－4月)
核の「廃棄」を「凍結」にすりかえか 本誌編集部

■マカオは今〔45〕

- * 「两会」後のマカオ 塩出浩和

■Briefing Room

- * ロヒンギャ帰還、国民和解など課題山積
- －3年目のミャンマーのスー・チー政権 伊藤努

■CHINA SCOPE

- * 洗練系リアル書店の開店ブーム 原口純子

■チャイナ・ラビリンス〔169〕

- * 全人代大会の歴史を紐解く 高橋博

■連載 日本の現代中国観を再構築する－「中華」の現在とは？〔2〕

- * 政体と「国情」－中国現政権の歴史的性格 深町英夫

■New Publications on Asia